

2023年度 須賀の寺子屋事業ふり返し(KPT法)まとめ

回答数 学習支援員(9) 見守り支援員(2)

K(Keep): このまま継続すること・うまくいったこと

P(Problem): 課題・問題点

T(Try): 解決法・新たに実施すること

【2023年度活動テーマ】 子どもおよび子どものいる家庭の包括的な支援活動

K このテーマのままで良い。子ども支援と家庭支援は密接だから。継続しましょう。(8)

→継続の意思を示す支援員が多いため継続したい。

【学習支援活動目標】 一人ひとりに寄り添った学習支援

小学生の学習支援に関する活動

- ① 学習支援活動 小学生学習教室開催 須賀公民館 毎月第2・4木曜日、16:30~17:30
「個別学習支援」と3年生以上対象に「集団学習支援」に分ける→参加生徒の増加で個別学習支援の対応が実施できるだけの支援員が確保できないため「全員集団学習支援」に移行したい。
- ② 5・6年英語学習 リスニングとライティング学習→専門の外部指導員が隔月1回開催できるようにしたい。
11月より奇数月の第2に5・6年生全員対象で英語学習
- ③ 小学生夏休み宿題教室(7月第4~8月第4、全4回開催)→夏休みの課題で困り感のある生徒がほとんど見られないため廃止したい。
- ④ 理科教室(年1回)→東海大学人間環境学部との連携で継続開催したい。
- ⑤ 中学校入学準備教室(年1回、3月)→行事の準備をする時間がないため廃止したい。
- ⑥ 担当支援員ミーティング(定例開催)→回数や時期の見直しをしてミーティングの開催を継続したい。
- ⑦ セクションリーダーの設置、2名を互選する→セクションリーダーの設置により活動や運営委員会が充実して来たため継続したい。
- ⑧ 希望生徒へタブレット端末の貸出し→希望者が少なくなっているが求める家庭があるため継続したい。
- ⑨ 対面学習休止期間中 Wi-Fi 貸出し→学校で貸出しができるようになったため廃止したい。

K ①(9) ②(10) ③(9) ④(10) ⑤(6) ⑥(7) ⑦(9) ⑧(7) ⑨(6)

P

- ・ ⑥メンバーの日程がなかなか合わない。
- ・ ⑥回数が多。
- ・ ⑧タブレットの使用状況の確認が必要かと思う
- ・ ⑨実績として『該当者無し』の状態である。
- ・ ⑨コストと不公平感が気になります。
- ・ 小学生の低学年は、勉強する基本的な習慣が出来ていないので、机に向かわせること自体が難しい子供がいる。

T

- ・ 集団学習支援には、支援員が3名は必要と思います。

- ⑥ミーティングは開催日に設定してはどうでしょうか。中学生と同様、3ヶ月に1回程度で良いと思います。
- ⑦支援員を増やすことが出来れば良いです。
- ⑧参加申込書の内容を武次さんと共有が必要です。
- ⑨今後取って貸出さなくても良いかと思います。
- 小学生低学年の子供の扱いに慣れた小学校の先生、元先生等に、子供とどう接すればよいか教えてもらう機会を作る。(男性の支援員は小さな子供の扱いに慣れていない。)

中学生の学習支援に関する活動

- ① 学習支援活動 中学生学習教室開催 太洋中学校体育館会議室 18:40~20:30
毎月第1・3木曜日(自主学習)、第2・4木曜日(個別学習)、オンライン学習対応→生徒の学習意欲と習慣の継続のために継続したい。
- ② 中学生特別教室(8月、3回)→参加希望者が年々増加して来たことと、課題完成の成果が見られるため、時期や回数は適宜検討して継続したい。
- ③ 英語リスニング学習 学年別に年2~3回 講師:櫛渕トレイシー先生→成果が分かりづらいが、講師や生徒の負担が無い限り継続したい。基本的に自習日の開催が好ましいと考える。
- ④ 独自教材の制作・製本→個々の支援員が作成している物に限り、作者の承諾を得て会に提供してもらいたい。その際は1ファイル1,000円を制作代として支給する。
- ⑤ 担当支援員ミーティング(定例開催)→回数や時期、内容の見直しをしてミーティングの開催を継続したい。
- ⑥ セクションリーダーの設置、2名を互選する→セクションリーダーの設置により活動や運営委員会が充実して来たため継続したい。
- ⑦ 太洋中学校寺子屋担当教諭との相談(年1回以上)→生徒に有益なため継続したい。
- ⑧ 希望生徒へタブレット端末の貸出し→希望者がいるため継続したい。
- ⑨ 対面学習休止期間中 Wi-Fi 貸出し→学校で貸出しができるようになったため廃止したい。

K ①(7) ②(7) ③(7) ④(5) ⑤(5) ⑥(7) ⑦(6) ⑧(5)

P

- ④それなりのスキルのある人が必要。
- ④自分の実力をもう少し上げることが優先する。教材は作成できる人が限られ、教科によっては市販されている教材で十分対応できる。
- ⑤支援員ミーティングは内容が毎回似ていて話すことがないという人がいる。
- ⑤課題というか色々工夫の余地があると思う。
- ⑧参加申込書の内容を武次さんと共有が必要です。
- ⑧は使用状況の確認。
- ⑨は申し出が無ければ必要ないと思う。
- ⑨実績として『該当者無し』の状態である。
- ⑨コストと不公平感が気になります。

T

- ②教科別の教え方や教科書の改訂内容等を取り上げれば、具体的で教えるのにも役立つので興味が出るといいます。(数学で昨年新たに加わった四分位数と箱ひげ図は学生時代習ったことがある支援員はいなく、新たに学習し直すことが必要になりました。)
- ④将来方向として、数学の場合はグレードの異なる市販の問題集の購入で良いと思います。

- ⑤日頃の学習支援に係る具体的な教え方などに関し、経験の長い教師、元教師、塾の先生等に研修で教科別に話してもらい、その内容等に関しミーティングを行えば、すぐに参考になるので興味を持って参加してもらえんと思ひます。
- ⑤ミーティング前にその回のテーマ(あれば)や特に支援員に求められる必要な報告事項などが事前に知らされているとありがたい。
- ⑨今後敢えて貸出さなくても良いかと思ひます。

高校生の学習支援に関する活動

- ① 学習支援活動 高校生学習教室開催 19:00~21:00 太洋中学校体育館会議室
毎月第1木曜日(個別学習) 毎月第2・3・4木曜日(自主学習)→現状のまま継続したい。
 - ② 相談対応(随時) →現状のまま継続したい。
 - ③ 担当支援員ミーティング(不定期) →必要に応じて担当者が相談しているため現状のまま継続したい。
 - ④ 希望生徒へはタブレット端末の貸出し→現状のまま継続したい。
- K ①(6) ②(6) ③(5) ④(5)
- 寺子屋開催時に各自学習している。中学生自習の時に支援員と共に学習していることがある。
- P
- 高校生の学習にすぐに対応できる学習支援員は少ないと思ひます。
- T
- ④参加申込書の内容を武次さんと共有が必要です。
 - 今後、学習支援に力を入れるなら支援員の体制を整える必要があります。即戦力は高校を卒業し時間が経っていない大学生の支援員の確保等が必要です。
 - 支援状況を中学生支援員ミーティングで少し共有できたら何か連携に繋がる？

学習及び子育て相談に関する活動

- ① 保護者および生徒からの相談対応(随時)
 - ② 専門家を入れたプロジェクトチームの設置
 - ③ チームミーティング開催(不定期)
- K ①(7) ②(7) ③(7) →件数は増加傾向のため必要性の観点からも継続したい。専門知識を有する人材がプロジェクトメンバーまたは協力者になってもらえんと思ひます。

【食支援活動目標】 ひとり親家庭および生活困窮家庭等に寄り添った支援活動

食支援活動

- ① 支援員によるプロジェクトチームの設置→食支援員を新たに募集して継続したい。
- ② 保護者会員を含めたワーキングチームの設置→現行の保護者会員の協力と他の保護者への普及が見込まれつつあるため継続したい。協力者には交通費を支給する(地区内は1回420円)。配達は1軒100円支給する。
- ③ 食糧品、生活用品等の個別配付(随時) 対象:生徒家庭+困窮家庭→対象者の満足度が高く、寄付や助成金等により会の費用負担が少ないため継続したい。
- ④ 軽食無料提供

(ア)対象:生徒家庭+困窮家庭(小学生・困窮家庭は毎月2回)→配付を希望する家庭がいるため継続したい。軽食内容は経費により見直しが必要。

(イ) 中高生学習教室開催日に毎月4回軽食が食べられる「須賀の寺子屋食堂」を開催→時間やメニューの見直しを行い継続したい。

⑤ 協力・支援団体との連携→連携を構築して来たため現状のまま継続したい。

K ①(7) ②(8) ③(8) ④(6) ⑤(7)

- ・ 配付作業のボランティアが増えた。

P

- ・ ①プロジェクトチームもかなりの活動量があり、負担感があると思う。
- ・ ④今で十分ですが、年1回でも以前のカレーが食べれたら嬉しい(個人的希望)。中学生になってカレーを食べれるのを楽しみにしていた生徒もいる。
- ・ ④(イ) 軽食時間を5分のばし15分にしてあげたらと思います。いろいろな方と話す場になっているようなので。その代わり、13分には声掛けをして後半が時間通りに始められればと思います。2週に1度だと6～8時間分を1時間(50分)やるため、実質40～45分だと、考えさえる時間があまりとれず駆け足になりがちです。
- ・ ④(イ) 高校生ボランティアはいるが、軽食準備と配付作業と手が回らないことが多い。
- ・ 食支援は小分け、配布作業に手間がかかり人手不足のように思います。
- ・ 総務の横田さんを見ていると、食支援に手を取られて忙しそうです。

T

- ・ ①について、人数を増やしたい。改めて呼びかけをお願いしたい。
- ・ ④(イ) 食堂専門の方を求む。
- ・ 定時制高校のフードパントリー日程を定めるのが難しいので不定期。
- ・ 寺子屋の現、元生徒およびその親を中心に食支援を手伝ってくれるように働きかけを行う。連続して手伝うよう要請するとハードルが高くなるので、作業を小分けし、毎月、次月の作業を調整さんに載せ、月に1時間でもよいので協力して欲しいと呼びかける。
- ・ 配布の食品が多い時に、小学生開催の公民館から中学校への運び出しが大変そうでした。重い物もあったので、保護者のチームだけでは無理そうでした。あらかじめお手伝いできる方を決めておく方が良いと感じました。
- ・ 学習支援員・総務とは別に、食支援員を募集したら如何でしょう。

【会員活動目標】 会員間の情報共有と協力体制の強化

会員研修等の自己研鑽に関する活動

① 支援員スキルアップ研修会 年4回開催→経験の浅い支援員のために必要なテーマの「基礎研修会」を設けたい。経験者には必要なテーマ・開催回数・講師を、支援員アンケート(年度末実施)を取り、それを基に運営委員会で検討し開催したい。

② 全支援員ミーティング開催 (年1回)→研修会と同時で開催したい。

情報共有

③ ホームページ上で情報共有ができる→必要な情報提供が適切に行われているのか、情報の共有ができていないのかを調査することが必要。

K ①(9) ②(9) ③(9)

P

- ・ ①年4回でなくて少なくともよい。

- ①②研修会やミーティングに対する興味が下がってきていると思います。
- ③情報があるのは助かるが、どのくらいの方が見ているのか。

T

- ①以前は ZOOM など参加すると自分のスキルが広がるテーマなので興味があった。

【運営活動目標】 目的達成のための潤沢な資金確保

会の運営に関する活動

- ① 会員および参加生徒の募集→生徒は現状のまま継続したい。会員は積極的に募集活動を行いたい。
- ② 賛助会の広報と会員拡充→現状のまま継続したい。
- ③ 生徒保護者への活動説明会(年 1~2回) →年 1 回のみ開催したい。
- ④ 会員・保護者への連絡ツールの整理→見直しを行いたい。
- ⑤ 各種アンケート調査の実施→現状のまま実施したい。
- ⑥ ホームページを利用した情報公開→現状のまま継続したい。
- ⑦ 広報活動プロジェクトチーム設置(寺子屋通信年4号 編集・発行、リーフレット作成・配布) →プロジェクトチームメンバーの補充をして、現状のまま継続できるようにしたい。
- ⑧ 組織基盤強化事業プロジェクトチーム設置→必要に応じて開催したい。
- ⑨ 運営委員会の開催およびオブザーバーの参加(毎月 1 回) →現状のまま開催したい。
- ⑩ 監査・顧問との活動報告懇談会の開催(年 1 回) →現状のまま開催したい。
- ⑪ ひらつか元気応援ポイントのボランティア受入れ→現状のまま継続したい。
- ⑫ 必要な補助金・助成金の申請→現状のまま継続したい。
- ⑬ 定期総会の開催(年 1 回 5 月第 1 週木曜日) →Zoom 説明会開催と書面表決で開催したい。
- ⑭ クラシックコンサート開催(年 1 回 11/23) →地域貢献のためにも現状のまま開催したい。

K ①(7) ②(8) ③(9) ④(8) ⑤(8) ⑥(9) ⑦(10)
⑧(6) ⑨(10) ⑩(8) ⑪(9) ⑫(8) ⑬(9) ⑭(9)

P

- ①会員・支援員の確保
- 代表の負担が大きいと思う

T

- ①仮入会のようなことも必要なのかも
- これだけのことができているのは代表が動いているから。同じようにできる人が起こるとすれば、代表が同じ志を持った人を育てるか、法人化して仕事としてやってくださる方を置くかということになるかと思います。

他団体との連携に関する活動、関係団体の事業等への参加 他

- ① 平塚市立太洋中学校への協力→現状のまま協力したい。
- ② 港地区社会福祉協議会への協力→現状のまま協力したい。
- ③ ひらつか市民活動センター主催事業の協力・参加→現状のまま協力したい。
- ④ 平塚市福祉協議会への協力→現状のまま協力したい。
- ⑤ ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会、同プロジェクト活動の協力→須賀の寺子屋の経験と know-how を活かして、学習支援や子ども食堂活動の普及と発展のために、積極的に

協力したい。

⑥ ひらつか子ども学習支援ネットワークの活動参加→現状のまま協力したい。

⑦ ひらつか子ども食堂NW、神奈川こども食堂・地域食堂NWの活動参加→現状のまま協力したい。

K ①(7) ②(7) ③(8) ④(7) ⑤(6) ⑥(7) ⑦(7)

P

- 自分は参加するゆとりがないので、ここも代表頼みとなっている。

T

- 代表の呼びかけに答えて参加される方がおられるので、これからも呼びかけていただきたい。

以上